

◆エムアイセブンジャパン：「FaderPort8」の販売を開始



株式会社エムアイセブンジャパンはアドバンスド DAW コントロール・サーフェス「FaderPort8」の販売を開始した。100mm ストロークのタッチセンシティブ・モーター・フェーダー 8 系統、78 種類もの機能をカバーするボタン 57 基が搭載された「FaderPort8」は、ZDAW のミックスやオートメーションに正確なコントロール性能をもたらし、オーディオ・ファイルに素早くズームインして編集、クリック・トラックのテンポをワンタップで調整、プラグイン・パラメーターをエディット、Aux ミックスを管理でき、トラック・レベルのコントロールも指先ひとつで可能にする。

Studio One ネイティブ・モードに加え、Mackie Control/HUI エミュレーションもサポートしており、Pro Tools、Logic、Cubase、Ableton、Nuendo、Bitwig、Reaper、Reason、Sequoia 等様々な DAW で使用可能。さらに、「FaderPort8」には Studio One Artist が収録され、DAW を持っていないでも、素早く効率に優れたワークフローが得られる。

必要な機能をすばやく簡単に見つけられる大型のボタンデザインや DAW からのビジュアル・フィードバックを提供する 8 機の高解像度デジタル・スクリブル・ストリップを採用。マウスでトラックを選択すれば「FaderPort8」もその選択に自動追従し、必要な機能を必要な時に素早くコントロールすることができる。そして、「FaderPort8」の独自セッション・ナビゲーターは、8 つの主要機能に素早くアクセスでき、最大限のフレキシビリティを提供している。トラックの録音待機を即時に実行、ミュートやソロのクリアをコントロール、任意のトラック / バス / VCA のみを表示させるなど、様々なオペレーションをボタンひとつで実行可能。また、プログラム可能なユーザー・ボタン 4 基を使用すれば、素早く簡単に必要な機能にアクセスできる。

【問い合わせ先】株式会社エムアイセブンジャパン
107-0052 東京都港区赤坂 2-22-21
<https://www.mi7.co.jp/news/>

◆グラスバレー：新たなパーソナルコンテンツ管理ソフトウェア「Mync」を発表

グラスバレー(株)はノンリニアビデオ編集ソフトウェアの最新バージョン EDIUS 8 に搭載された GV Browser (コンテンツ管理機能) に新たな機能を追加し、3 月上旬より「Mync(ミンク)」として販売を開始した。「Mync」は動画・静止画コンテンツを効率的に管理し活用するソフトウェアで、「EDIUS Mync Basic」は強力なプレビュー機能とコンテンツの整理に特化し、さまざまな動画フォーマットに対

応している。また、YouTube や Vimeo、Facebook などへのシェア機能も搭載されている。「EDIUS Mync Standard」は、デジタルフォトグラファー、Web コンテンツクリエイター、およびビデオ編集の初心者に向けた製品で、優れた操作感を実現したストーリーボードビデオ編集機能や、プロフェッショナルビデオフォーマットに対応した高度なコンテンツ管理機能など、Basic バージョンに多くの機能が加えられている。2017 年 6 月 30 日まで「EDIUS Mync Basic」は無料、「EDIUS Mync Standard」は 4980 円 (税抜) で提供されている。

【問い合わせ先】グラスバレー株式会社

兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー 19F
<http://www.grassvalley.jp/>

◆オタリテック：パワードスピーカー「GENELEC 8020/ 8030」がアップデート

オタリテック(株)はGENELEC 社製のパワードスピーカー「GENELEC 8020/8030」がアップデートされることを発表した。新型モデルは、アナログアンプからGENELEC 社自社開発の高音質クラスD デジタルアンプへ変更、アンプ出力が8020 は2×20W から2×50 Wへ、8030 は2×40 Wから2×50 Wへパワーアップ、8020、8030 ともに最大音圧が4dB アップ、DESK TOP コントロールスイッチが追加される、電源スイッチが背面プッシュボタン式に変更、ボリューム調整ノブが背面に移動などの変更点がある。3 月 1 日に新製品の「8020D」と「8030C」の注文受付が開始され、出荷予定は4 月になっている。現行品の「8020CPM」「8030BPM」は在庫終了しだいたい販売完了になる。

GENELEC



「8020D」



「8030C」

【問い合わせ先】オタリテック株式会社 www.otaritec.co.jp
TEL : 03(6457)6021 FAX : 03(5285)5281

◆日本エレクトロ・ハーモニクス：Roger Mayer 新製品「RM58M」を発売



日本エレクトロ・ハーモニクス(株)は Roger Mayer 新製品のリミッター / コンプレッサー「RM58M」を発売した。

「RM58M」は Roger Mayer が 1970 年代にスタジオ・コンソール用にカスタムメイドしていたオリジナルの「RM58」をスタジオ品質

のまま小型化したもの。2010年に出していたペダルサイズの製品はペダル型としてはやや大型だったが、「RM58M」は127W×51H×94Dmmとペダルボードに余裕で収まるサイズになっている。楽器用(-10dB)とライン(+4dB)の2つの入出力レベルに対応しておりベースやギターだけでなくプロオーディオ機器用のリミッターとしても使用できる。クラスAディスクリット回路による最高品質の音質と二次倍音をピークに追加し自然で豊かなサウンドも特徴の一つ。

◆日本エレクトロ・ハーモニクス：コンパクトで高性能なヘッドホン・アンプ「Miktek HM2」発売

日本エレクトロ・ハーモニクス(株)はMiktek新製品のヘッドホン・アンプ「HM2」を発売した。「HM2」は高性能な2チャンネルのヘッドホン・アンプで、ステレオ入力とマイク入力がありそれぞれのレベルを調節できる。レコーディングやステージでボーカリストがステレオ音源に合わせて歌う場合などに適している。ヘッドホン端子は1/4と1/8インチの2種類。ミックス・スルー端子を使って2台の「HM2」を繋いで使えばヘッドホン端子を増やしたりマイク入力を増やしたりできる。ステレオ入力をモノラル入力にするスイッチもある。



●特徴: バランスXLRマイク入力端子を装備/ バランスXLRマイク・スルー出力端子を装備(メインミキサーに出力)/ 1/4インチ・ステレオ入力端子を装備(メインミキサーから入力)/ 1/4インチ・ミックス・スルー出力端子を装備(他のHM2に接続してヘッドホン出力を増設)/ ステレオ音源をモノラルに変換するMONOスイッチ搭載/ マイク入力用レベル・コントロール搭載/ ステレオ入力用レベル・コントロール搭載/ ヘッドホン端子は1/4インチと3.5mmの2タイプを装備/ 18V電源アダプター付属

【問い合わせ先】 日本エレクトロ・ハーモニクス株式会社
TEL:03-3232-7601 FAX:03-3232-7424

◆リーダー電子:放送関連機器3機種とHDMI関連機器2機種の発売を開始

■放送関連機器

●マルチフォーマットビデオジェネレータ「LT 4600A」

トリプルレートSDI(3G/HD/SD)フォーマット・AC電源に対応した1UハーフラックサイズのコンパクトなSDIビデオ信号発生器。



「LT 4600A」はSDI出力にカラーバー、SDIチェックフィールドなどのテストパターン出力、外部基準入力信号へのゲンロック機能、3系統のアナログブラック信号出力、2系統のAES/EBU出力、Word Clock出力などの機能を備えている。SDI信号は独立で2系統2出力あり、パターン選択やタイミングを可変することができる。独立した3系統のブラック信号出力を装備。NTSC/PALブラックバースト信号、HD 3値同期信号を選択し、タイミングを可変可能。ゲンロック機能は、NTSC/PALブラックバースト信号およびHDTV 3値同期信号に同期可能。また、ゲンロック入力に異常が発生した場合に備え、Stay in Sync機能を搭載している。同社従来品LT 4600からの変更点は、DC

電源入力がAC電源入力に変更とAES/EBU 1系統が追加されている。

●シンクジェネレータ「LT4610」12G-SDIオプション

シンクジェネレータ「LT4610」に12G-SDIオプション「LT4610 SER02」を追加することで4Kの映像・音声データを12G-SDIで出力することができる。



SDI信号出力は、4K 12G-SDI、4K 3G-SDI クワッド、4K HD-SDI クワッド、4K 3Gデュアル、3G-SDI-A、3G-SDI-B、HD-SDI、およびSD-SDIに対応しており、4系統のSDI出力端子を備えている。フォーマットは4系統共通になるが、パターンや位相をそれぞれ設定可能。また、自然画出力が可能で、パターンスクロール、ムービングBOX、セーフティエリアマーカー、IDキャラクタの重畳、ロゴマークの重畳、リップシンクパターンも対応した。

●マルチウェーブフォームモニター「LV 5490」カメラノイズメーターオプション

「LV 5490」は、マルチレートSDI(4K 12G/4K 3G/4K 3Gクワッド/4K 3Gデュアル/4K HDクワッド/HD/SD)フォーマットに対応したモニターであるが、カメラノイズメーターオプション「LV 5490SER10」を追加することで、SDI信号の輝度信号、またはRGB信号



に含まれるビデオノイズの測定が可能になる。ビデオノイズ測定は、周波数帯域を選択可能なローパスフィルタが実装されており、ノイズ測定の際に高周波数帯域の成分を取り除くことができ、入力されたSDI信号から得たデジタルデータをアナログ変換せずにフルデジタル処理でノイズを測定するために、高精度・高安定な測定を行うことができる。また、ピクチャー表示画面にてノイズを測定する測定領域を指定するウィンドウ設定ができ、ノイズレベルが設定された閾値を越したときに、アラーム表示を出すことも可能。4Kノイズ(S/N)デジタル測定対応は世界初。

■HDMI関連機器

両製品は4Kに対応した6Gbps(トータル18Gbps)におけるHDMI2.0(a)とHDCP2.2動作確認できるAV市場向けの製品。「Fresco SIX-G」はHDMIシステムのためのHDMIビデオ基準ソース機器として、「Fresco SIX-A」はEDIDシミュレーションやHDRデータの確認が可能なシンク機器であり、両機種を組み合わせることでHDMIケーブルテストが可能。



HDMI2.0、4K対応ジェネレータ「Fresco SIX-G」(左)とアナライザ「Fresco SIX-A」

◆リーダー電子:放送業界のIP標準化推進団体AIMSに正式加入

2月23日、リーダー電子株式会社は放送業界のIP標準化推進団体AIMSに正式加入したことを発表した。AIMS



(Alliance IP Media Solutions)は放送およびメディア企業が従来の

SDI システムから IP ベースに移行するオープンスタンダードを促進する非営利のトレードアライアンス。

【問い合わせ先】 リーダー電子株式会社 営業技術グループ
TEL:045-541-2228

◆富士フィルム：シネマカメラ用レンズ「MK レンズ」シリーズを新たにラインアップ



【FUJINON MK 18-55mm T2.9】



【FUJINON MK 50-135mm T2.9】

富士フィルム(株)はシネマカメラ用レンズに高い光学性能と圧倒的な小型軽量化、優れたコストパフォーマンスを実現した「MK レンズ」シリーズを新たにラインアップした。第一弾の焦点距離18-55mmのEマウント専用標準ズームレンズ「FUJINON MK 18-55mm T2.9」は3月上旬に発売、焦点距離50-135mmのEマウント専用望遠ズームレンズ「FUJINON MK 50-135mm T2.9」は今夏

に発売される。Xマウントに対応した製品は今年中の発売を目指す。

同社は Web 映像の急速な普及によって高まる高性能な動画用レンズの需要に応えるために、高い光学性能とクリエイティブな動画撮影者の高いニーズに応える大きさ・操作性を持ったシネマカメラ用レンズの開発に取り組んでおり、「MK レンズ」は、「FUJINON シネレンズ」の特長である、画面中心から周辺まで高い光学性能と低ディストーションを踏襲しながら、従来のシネマカメラ用レンズの常識を覆す圧倒的な小型軽量化と優れたコストパフォーマンスを実現したレンズである。

「MK レンズ」は、焦点距離全域で T2.9 の明るさを実現。浅い被写界深度でボケ味を活かした撮影を可能にする。また、スーパー35mm/APC-C センサー対応の E マウントと、同社デジタルカメラ「X シリーズ」(APC-C センサー対応)で採用している X マウントの 2 種のマウントに対応。短いフランジバックの利点を光学設計に最大限活かすことで、高い光学性能を小型・軽量ボディで実現している。さらに、動画専用レンズに最適化された光学・機械設計を行うことで、デジタルカメラ用交換レンズの持つ、ズミング時の焦点移動や光軸ずれ、フォーカシング時の画角変更を抑制している。この他、フォーカス、ズーム、アイリス(絞り)を独立してマニュアル操作できる 3 連リングを搭載し、全ての操作リングのギアピッチを 0.8M(モジュール)に統一。フォーカスリングの回転角を幅広い 200 度に設計し、精緻なフォーカシングを可能にするなど、快適な操作性を実現している。

【問い合わせ先】

富士フィルム 光学・電子映像事業部営業グループ
TEL:048-668-2143

◆ゼンハイザー：天井設置型シーリングマイクロホンシステム「TeamConnect Ceiling」発売

ゼンハイザージャパン(株)は天井設置型シーリングマイクロホンシステム「TeamConnect Ceiling」を3月21日に発売した。内蔵された29個のマイクロホンカプセルにより、話者の方向を認識し指向性を自動追尾する「ビームフォーミング機能」が搭載されている。位置の制限を受けずどこでも発言可能だけでなくテーブル構成を変更した場合でも追加設定の必要がない。また指向性害になる不要な空調ノイズなどは最小限に抑えられ通話先にクリアな音声を届ける。



天井に設置するシーリングマイク

テーブル上には何も設置する必要がない為、スペースを有効活用しつつスタイリッシュな会議空間を構築できる他、初回のセットアップ以降は何の準備もせず会議を始められるので時間の節約にも繋がる。集音範囲は最大約60平方メートルで複数の天井マイクを設置することで更に拡張することもできる。

セントラルユニットは電話回線への接続により電話会議に対応する他、音声入出力端子を搭載しているため各種テレビ会議システムへの接続が可能。また USB インターフェイスを介して PC へ接続すれば各種 WEB 会議に使用することも可能。セントラルユニットは音声ミキサー機能も備えており、入出力の音声調節ができるだけでなく、AEC(アコースティックエラーキャンセレーション)機能により部屋の残響やハウリングを抑制し優れた音質を確保する。

◆ゼンハイザー：ヘッドホン新製品「HD 4.40BT」を発表・発売

ゼンハイザージャパン(株)はヘッドホン新製品「HD 4.40BT」を3月16日に発売した。「HD 4.40BT」は「HD 4.30」の Bluetooth モデルで、Bluetooth 4.0、NFC、apt-X に対応した同社ワイヤレスヘッドホンのエントリーモデル。ワイヤードヘッドホンとしても利用可能で、1.4 m の接続ケーブルが付属する。フル充電で約25時間使用可能。周波数特性は18~22,000Hz、インピーダンスはパッシブ利用時で18Ω、音圧レベルは113dB、折りたたみ機能もありキャリングポーチも付属する。



◆ゼンハイザー：「SpeechLine Digital Wireless」追加ラインナップ発表

ゼンハイザージャパン株式会社はスピーチ/プレゼンテーション専用のワイヤレスシステム「SpeechLine Digital Wireless」のテーブルスタンドセットを3月21日に発売した。「SL TS 133 GN Set DW」「SL TS 153 GN-L SET DW-5 US」はグースネックマイク、スタンド型送信機、受信機がセットとなる卓上マイクのワイヤレスソ

リューション。卓上マイクのスタンド部が1.9GHzワイヤレス送信機となり、ケーブル不要のためフレキシブルな設置状況に対応する。スタンド型送



「SL TS 133 GN Set DW」

「CHG 4N ネットワークチャージャー」

信機搭載の充電池は無接点充電、又は Micro USB 接続にて充電が可能です。また、従来のラインナップ同様に専用ソフトウェア Control Cockpit にて機器のリモート一括監視が可能。「SL TS 133 GN Set DW」は XLR-3 コネクタ接続の MEG 14-40 B グースネックマイク付属、「SL TS 153 GN-L SET DW-5 US」は XLR-5 コネクタ接続の MEG14-40-IIB リング LED 付グースネックマイク付属のセット。「CHG 4N ネットワークチャージャー」は LAN 接続によりソフトウェア上での充電状況監視が可能となる充電器で、SL DW ハンド送信機、又は SL ボディパック送信機 4 台を一度に充電可能。

【問い合わせ先】

ゼンハイザージャパン株式会社

TEL. 03-6406-8911 <http://www.sennheiser.co.jp/>

◆ゼンハイザー:ヘッドフォン・イヤフォン・ゲーミング用ヘッドセットサービスセンター移転

ゼンハイザージャパン(株)は2017年3月21日に、イヤフォン、ヘッドフォン、ゲーミング用ヘッドセットのサービスセンターを移転した。移転先は下記の通り。

新名称:ゼンハイザージャパン川崎サービスセンター

新住所:〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島17-1

タカセ株式会社川崎港営業所(VCセンター)内

電話番号:0570-666-876

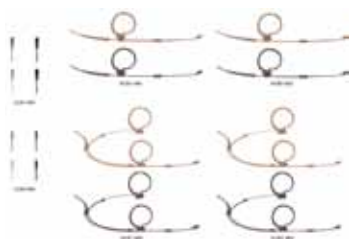
アドレス:service-jp@sennheiser.com

◆ヒビノ:AKGの超軽量コンデンサー型マイクロホン

「MicroLite Series」を発売

ヒビノ(株)はAKGのコンデンサー型マイクロホン「MicroLite Series」を、2017年2月23日から発売した。

「MicroLite Series」は超軽量で装着感が優れているため、話者にも聴者にもマイクロホンの存在を感じさせない。ケーブルを含んだ重さは、ラベリアは4または6g、イヤーフックは8g、ヘッドウォーンは12g。また、マイクヘッドは極めて小さく、イヤーフ



クやヘッドウォーン本体も極細のワイヤー構造を採用しているため、装着しても目立たない。さらに、イヤーフックやヘッドウォーンの耳に掛けるフックは、柔軟性に優れた素材で位置も自在に調整可能。人によって異なる顔の大きさや耳の位置に関係なく、最適な場所に固定できる。イヤーフックは左右どちらにでも装着でき、ヘッドウォーンのブームは左右どちらにでも取り付け可能。

高品位な集音も実現しており、シリーズ共通のマイクヘッドは、スタジオ用マイクロホンで定評のあるAKGならではの優れた音質を実現。微細な音声信号も捉える高い感度と人の声に最適化された周波数特性により、声量が少ない子供や女性、高齢者の声も鮮明に收音できる。さらに、最大音圧レベルは145dB SPLに達し、声を張り上げてもクリアな音質で收音可能。ノイズ対策もされている。携帯電話やワイヤレスシステムの発する電波の影響を低減する設計が施されており、吹かれや風によるノイズの影響を低減するウインドスクリーンも付属。



端子アダプターとプリアンプ・アダプター

端子部分は簡単に着脱が可能。オプションの端子アダプターと交換すれば、AKGだけではなく、Audio-Technica、beyerdynamic、Lectrosonics、SENNHEISER、Shure製のワイヤレスシステムとも組み合わせて使用できる。ローカットフィルターと位相反転機能を備えたプリアンプ・アダプターも用意しており、ワイヤード・マイクロホンとしても使用可能。また、ウインドスクリーンの他、マイクヘッドへの化粧パウダー等の粉じんの侵入を防止するワイヤーメッシュキャップ、メイク中にマイクヘッドを保護するメイクアップカバー、マイクヘッドへの汗の侵入を防ぐモイスチャーシールドも付属。さらに、ラベリアの衣服装着用モデル(白/黒)には、衣服を傷つけることなく最適な收音場所にマイクロホンを固定できるマグネット式とピンチ式のクリップが、他のモデルにはケーブルを固定するためのクリップが同梱されている。本体や全ての付属品は専用のマイクポーチに収めることができる。



豊富な付属品

【問い合わせ先】ヒビノ株式会社

ヒビノプロオーディオセールス Div.

TEL:03-5783-3110 FAX:03-5783-3111

◆ドルビーラボラトリーズとLGエレクトロニクス:初のドルビービジョン対応スマートフォンを発表

ドルビーラボラトリーズとLGエレクトロニクスは、LGエレクトロニクスのスマートフォン「LG G6」がスマートフォンとして初めてドルビービジョンのHDR(ハイダイナミックレンジ)に対応することを発表した。そして、NetflixとAmazonが世界で初めて世界中のモバイル機器向けにドルビービジョン対応コンテンツをストリーミン

グサービスで提供する。

ドルビービジョンは「LG G6」の5.7インチ大画面フルビジョンとの組み合わせでより明るいハイライト、一層鮮明なコントラスト比、これまでモバイル画面では再現できなかった色彩を再現し、まるで実物を見ているかのような画像を提供する。また「LG G6」はより豊かなサウンド体験を提供するドルビーオーディオも搭載している。

【問い合わせ先】

ドルビーラボラトリーズ

<https://www.dolby.com/jp/ja/index.html>

◆シャープ:採光プレートをヒューリック本社ビル増築棟に設置

シャープ(株)は液晶ディスプレイの開発で培った光学制御装置を応用した「採光フィルム」を搭載し大幅に軽量化した採光プレートを開発。ヒューリック株式会社の本社ビル増築棟に設置された。

「採光フィルム」は表面に微細加工を施すことでフィルムの片側に様々な角度から入った光を反対側に一定の角度で出すもので、2015年6月に開発された。建物の窓の上部に設置することで季節による角度の変化にかかわらず太陽光を効率的に天井方向に取り込み、室内全体を明るくするとともに高い省エネ効果をもたらす。今回開発された採光プレートは、窓からの光を取り入れる「採光フィルム」と光を拡散させる「拡散フィルム」を一体化し、さらにガラスを用いずにアルミフレームを採用することで従来の「採光フィルム」システムから約94%軽量化されており、フィルムの一体化および軽量化による組み立て工数の低減によりせこうが容易になった。

【問い合わせ先】

シャープ株式会社 研究開発事業部

<http://www.sharp.co.jp/>

◆シャープ:モバイル型ロボット電話「RoBoHoN(ロボホン)」LINEのメッセージ送受信に対応

シャープ(株)は3月22日のアップデートでモバイル型ロボット電話「RoBoHoN(ロボホン)」とコミュニケーションアプリ「LINE」との間でメッセージの送受信を可能にする「ロボホン」専用アプリを提供した。LINEとのメッセージの送受信に「ロボホン」が対応することによりスマートフォンなどとやり取りができるようになり、「ロボホン」のコミュニケーション手段が増える。メッセージの文章だけでなく画像の送受信も可能になり、メッセージ内の言葉や顔文字に合わせて「ロボホン」が動きを付けて読み上げてくれる「モーションメッセージ」にも対応。「ロボホン」ならではの動きを伴った豊かなコミュニケーションがLINE上でも実現する。



【問い合わせ先】

シャープ株式会社「ロボホン」サポートセンター

TEL:050-5577-7649

◆DPSJ:Telestream社のファイルベース自動品質検査ソリューション「Vidchecker」の取扱を開始

日本デジタル・プロセッシング・システムズ(株)はTelestream社とファイルベース自動品質検査(QC)ソリューション「Vidchecker」の販売代理店契約を締結し取り扱いを開始した。同社は2010年からエンコード・トランスコードによって生成されたメディアファイルを検査するファイルQCソリューションへの取り組みを続けてきたが、より様々なファイルQCの要望へ柔軟に対応できるようにすべくファイルQC分野の拡充と強化を図るため、この度Telestream社の「Vidchecker」をソリューションに加えることになった。

「Vidchecker」は、「簡単」・「高速」・「正確」・「包括的」にファイルベースのメディアのQCを制御する、高い費用対効果を兼ね備えた自動化ソフトウェアソリューション。WindowsベースのPCまたはサーバー機へ簡単にインストールでき、ウェブブラウザを通じてローカルまたはネットワーク越しにリモートでGUIにアクセスすることが可能である。配信前または後のファイルベースビデオのチェックや、ポストプロダクションやコンテンツ業者から受け取ったファイルのビデオ・オーディオパラメータ、レベルが正しく放送用に準拠しているか放送局が確認する用途に最適化されている。1台のワークステーションから、巨大なスループットを必要とするエンタープライズな構成まで、スケーラブルに対応することができる。

【問い合わせ先】

日本デジタル・プロセッシング・システムズ株式会社

TEL:03-6746-0231

◆NHKエンタープライズ、株式会社NHKメディアテクノロジー、レコチョク・ラボ、WONDER VISION TECHNO LABORATORY: SXSW2017に「8K:VRライド」出展

NHKエンタープライズ(株)、NHKメディアテクノロジー(株)、レコチョク・ラボ、WONDER VISION TECHNO LABORATORY(株)は、アメリカで開催される世界最大のクリエイティブビジネスの見本市SXSW2017に、「8K+ドーム型ワイドスクリーン+モーションライド+5.1ch」による「8K:VRライド」を展開した。このコンテンツは東京をテーマに過去から現在、2020年に向かう様子を時空移動しながら、8Kによる実写とCGを組み合わせた映像。

「8K:VRライド」はSXSW2016に出展されたヘッドマウントディスプレイを使わないVR体験「8K:VRシアター」に続く新たな「8K:VR」のコンセプト。「8K:VR」はNHKエンタープライズとNHKメディアテクノロジーが共同開発したコンセプトで、NHKが開発した次世代テレビ放送規格「8Kスーパーハイビジョン」に3D映像技術を組み合わせ、「8K+3D+22.2ch」による、世界初の8K:VR作品を共同制作した。「8K:VRライド」はNHKエンタープライズとNHKメディアテクノロジーに加え、「8K:VRシアター」に関心を持ったレコチョク・ラボと「8K:VRシアター」の基盤となる映像システム「Sphere5.2」を開発するWONDER VISION TECHNO LABORATORY株式会社との4社によって共同開発された。WONDER VISION TECHNO

LABORATORY 株式会社が開発した Sphere 5.2 は、幅 5.2m、高さ 3.4m、奥行き 2.6m のドーム型ワイドスクリーンに、4K または 8K の映像をプロジェクション投射できる映像システム。このシステムに 8K 対応プロジェクターと、電動 6 軸モーションベースを組み合わせ、世界初の 8K 映像によるモーションライドを実現した。

【この件に関する問い合わせ先】

NHK エンタープライズ株式会社 計画・広報 Tel:03-3481-7819

NHK メディアテクノロジー株式会社 計画部 Tel:03-3481-7724

株式会社レコチョク 広報担当 Tel:03-6418-7221

WONDER VISION TECHNO LABORATORY (株) Tel:03-6661-1670

8K:VR 公式 HP <http://8KVR.net>

◆NewTek : Tupelo Raycom、スポーツ中継車に「NewTek IP シリーズ」を導入

米国内の63のテレビ局を運営するRaycom Media社傘下で大手ライブスポーツ制作会社として認知されているTupelo Raycom (テュプロ・レイコム)社は新しく構築したスポーツ用放



送中継車の映像制作フローの中核として「NewTek IP シリーズ」を採用した。Tupelo Raycom社は、今後1000以上ものロケ現場からライブによるスポーツ番組を全国に向けて放送していく予定であり、ライブ放送における制作環境においては常にプロデューサーから求められる即座の要求に対応できるスイッチャーシステムが必要とされ、そのニーズに応えるべくスイッチャーとして「IP シリーズ」の採用が決定された。

NewTekのVMC1 Video Mix Engine (ビデオミックスエンジン)は、フレーム精度でスイッチング可能な、モジュラータイプでSDI/IPハイブリッドなライブ制作システムであり、「IP シリーズ」はモジュラーアーキテクチャーを採用しているためIP経由のみならず必要に応じてSDI入力モジュールを追加することができる。

【この件に関する問い合わせ先】

株式会社ディストーム TriCaster 事業部 TEL:03-5211-3208

株式会社アスク TEL:03-5215-5650

◆パナソニック：プラズマディスプレイ第3、第4工場建物の譲渡完了

パナソニック(株)はESR(株)が組成する特定目的会社「RW 尼崎特定目的会社」とプラズマディスプレイ第3、第4工場建物の信託受益権の譲渡契約を締結し、2017年3月15日に引き渡し完了した。同社は2013年12月末にプラズマディスプレイの生産を終了し、2014

年3月末に事業活動を停止して以来、関連資産の処分を進めていたが今回の第3、第4工場譲渡をもってプラズマディスプレイに関わる全資産の処分を終えた。

◆パナソニック：放送番組リアルタイムアーカイブシステムを発売

パナソニック(株)は地上デジタル放送、BS放送、CS放送などの放送番組からインターネット配信用動画コンテンツを自動生成する放送番組用リアルタイムアーカイブシステムを放送事業者向けに3月下旬から発売する。放送した番組をVOD用として再配信する際のワークフローを自動化するこのシステムは、オンエア時のマスター映像を取り込みEPG(電子番組表)情報に基づいて番組の境界をフレーム単位の精度で検出し自動的に切り出す。一般的なファイルフォーマットであるMP4と共にHybridcastのDVD仕様で採用されているMPEG-DASHにも対応している。

◆パナソニック、東急電鉄：最先端技術「LinkRay」を活用したスマートフォン向け情報配信サービスを開始

パナソニックシステムネットワークス(株)と東京急行電鉄(株)は、パナソニックの最先端技術「LinkRay」を活用し、公共交通機関、商業施設、美術館などで、デジタルサイネージ、看板などとスマートフォンアプリをシームレスに連携させる「情報連携プラットフォームサービス」を提供することを目的とした、合弁会社を設立する。

「LinkRay」はスマートフォンのカメラをLED光源またはその光源に照らされた対象物にかざすだけで情報をすばやく同時に複数名で受信することができる技術。

同サービスは対象物にID発信器を組み込み、LinkRay標準アプリや企業の公式アプリを利用して、さまざまな場所や施設でスマホをかざすことにより、個人の属性や消費特性に合わせて情報が取得できる。具体的には、公共交通機関においては周辺施設や行き先などの案内情報、商業施設においてはイベント情報・広告・クーポンなどを多言語で取得でき、利用者の利便性向上や、施設への誘客・送客を促し、リアルとバーチャルをつなぐ新しい顧客体験が提供される。また今後は、災害などの非常時における円滑な避難誘導案内の配信など公共インフラとしての役割も可能にしていく。

東急電鉄では、2016年1月～2月に、田園都市線・大井町線二子玉川駅のデジタルサイネージや電飾看板において、広告と連動し、広告クライアントの詳細商材情報やクーポンなどの特典を配信する試験を実施した。パナソニックと東急電鉄は、今回の合弁会社設立を契機に、今後、東急線の駅や東急グループの施設・アプリへの導入をモデルケースにし、様々な業種・業態向けサービスパッケージとして開発・提供を進めていき、全国へと広げていく。最初の取り組みとして、4月よりSHIBUYA109や、新たな情報発信スペース「こすぎアイ」が誕生した東急線武蔵小杉駅に導入し、案内情報やイベント情報などの配信を行っていく。

また、新会社の具体的な取り組みとしては、情報連携プラットフォームにおけるまったく新しい媒体価値の提供やサービスの企画・開発、「LinkRay」対応の各種アプリ用ソフトウェア開発キットとクラウド

サービスによるログ解析・コンテンツ切り替え機能を持つコンテンツマネージメントシステムの提供を行う。あわせて、SNS 事業者、共通ポイント事業者、交通系事業者、大手小売事業者などの多種多様な戦略パートナーのアプリと「LinkRay」の共通・相互利用を促進し、さまざまな場所におけるスマホの活用を一層高める社会インフラの構築を推進する。

2020 年に向けてのインバウンド対策、リテール決済手段の多様化など、様々なデジタルデバイスが連携したサービスは、需要拡大とともに成長が見込まれる分野であり、パナソニックと東急電鉄は、両社グループのノウハウや資産を活かした事業共創により、「あらたな驚き」・「魅力ある生活スタイル」の提案を通じて、「今までにない顧客体験価値の創出」に挑戦する。

【この件に関する問い合わせ先】

パナソニック システムネットワークス株式会社
 パナソニック システムお客様相談センター
 TEL : 0120-878-410

◆ソニー：壁際に設置し 100インチの 4K HDR映像を楽しめる超短焦点プロジェクター「VPL-VZ1000」発売

ソニー(株)は、壁際に設置し 100 インチの 4K HDR 映像を楽しめる超短焦点プロジェクター「VPL-VZ1000」を発売する。ソニーの超短焦点ホームシアタープロジェクターとして初めて HDR 映像の表示にも対応した。インテリアにも調和しやすいシンプルなデザインで、リビングのチェストやリビングボードの上などに設置して使える。



【VPL-VZ1000】

光源に青色レーザーと蛍光体を組み合わせたシステム「Z-Phosphor」を採用し高い光の利用効率を誇る 4K 液晶ディスプレイデバイス 4K SXRD と組み合わせることで、2,500 ルーメンの豊かな光量で、技術的に高い難易度が求められる、高輝度と高コントラストを両立する。全体の明暗の差が大きい HDR の映像も、暗い箇所から明るい箇所まで黒つぶれや白とびすることなく細部まで鮮明に表現する。同社が十数年培ってきた「データベース型超解像処理 LSI (リアリティークリエーション)」も搭載し、フル HD の映像も画像に合わせて最適に超解像処理 (4K 映像へのアップコンバート変換) を行い、きめ細やかで高品位な 4K 映像を再現できる。

【問い合わせ先】

ソニーマーケティング株式会社 買い物相談窓口
 TEL:0120-777-886 (フリーダイヤル)

TEL:050-3754-9555 (携帯電話・PHS・一部の IP 電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合)

◆ソニー：業界最高クラスの高感度で暗所も鮮明に撮影、フル HD 対応ネットワークカメラ 8 機種発売

ソニー株式会社は業界最高クラスの高感度を実現し、星明り程度の明るさがあれば暗所でも鮮明に被写体を撮影できるフル HD 対応ネットワークカメラの 2 シリーズ (V シリーズ / E シリーズ) 全 8 機種を発売する。Exmor R CMOS イメージセンサー搭載などにより、最低被写体照度 0.006 ルクスの暗所でも、カラーのフル HD 動画撮影が可能で、さらにネットワークを経由して遠隔地の映像を確認できる。

<ネットワークカメラ V シリーズ>



【SNC-VB640】

【SNC-VB642D】

型名	発売日
【SNC-VB640】(屋内ボックス型)	4月20日
【SNC-VB642D】(屋外ボックス型)	5月25日
【SNC-VM641】(屋内ドーム型)	4月20日
【SNC-VM642R】(屋外ドーム型)	5月25日

<ネットワークカメラ E シリーズ>



【SNC-EM641】

【SNC-EM642R】

型名	発売日
【SNC-EB640】(屋内ボックス型)	4月20日
【SNC-EB642R】(屋外ボックス型)	5月25日
【SNC-EM641】(屋内ドーム型)	4月20日
【SNC-EM642R】(屋外ドーム型)	5月25日

V シリーズは、設置自由度やシステム拡張性に富んだ上位モデルで、高感度の撮影性能に加えて赤外線センサーなど外部機器とのシステム連携が可能な外部入出力端子を備えている。また、AC24V や DC12V の電源に対応し、道路・鉄道・街頭防犯など AC や DC で電源供給を行う際にも適している。

E シリーズは、エントリー価格帯でありながら V シリーズと同等の高感度性能をもち、新たに音声通信機能と SD カードスロットを搭載し、店舗状況の遠隔モニタリングや簡易的な街頭防犯システムなど、音声やバックアップ記録用途が求められるシーンでの活用も想定して設計されている。

両シリーズともに、屋内外の様々なシーンにあった各 4 機種(屋内用・屋外用 / ボックス型・ドーム型)がある。屋内用モデルは、店舗・マンション・工場・オフィスなど幅広い防犯ニーズに対応し、屋外用モデルは、

防塵・防水性能(JIS 保護等級 IP66 準拠)を備えたハウジング一体型で、さまざまな建物の外周監視や街頭防犯用途などに適している。また、照度 0ルクスの可視光の入らない環境下でも撮影できる赤外線照射機能にも対応している。

【問い合わせ先】

ソニービジネスソリューション株式会社 業務用商品相談窓口
TEL:0120-788-333 (フリーダイヤル)
050-3754-9550 (携帯電話・PHS・一部のIP電話など)

◆ティアック：Wi-Fi 接続対応リニア PCM レコーダー

「DR-22WL」「DR-44WL」の多言語表示対応最新ファームウェア Version2.10 リリース

ティアック(株)は Wi-Fi 接続対応リニア PCM レコーダー「DR-22WL」「DR-44WL」の多言語表示対応最新ファームウェア Version2.10 を TASCAM ホームページで無償公開した。あわせて「DR-22WL」「DR-44WL」用アプリ「TASCAM DR CONTROL」の日本語表示を含む多言語表示に対応した最新バージョンもリリースされた。Version2.00 以降の「DR-22WL」「DR-44WL」は「TASCAM DR CONTROL」経由でファームウェアアップデートが可能。また、同リリースで 2016 年に同社が公表した「リニア PCM レコーダー多言語化プロジェクト」は予定通り完了した。



「DR-22WL」

「DR-44WL」

【DR-22WL の主な特長】

- ・ Wi-Fi 接続に対応した 24bit/96kHz ハイレゾ対応ステレオリニア PCM レコーダー
- ・ スマートホンと Wi-Fi 経由で接続し、スマートホンからリモートコントロール
- ・ 使用環境に合わせて選べる 2 種類の Wi-Fi 接続方式 (ルーター経由 /1 対 1)
- ・ 本体だけで高音質録音 - 本格的な X-Y 方式ステレオマイクを搭載
- ・ 大型 LCD とシーンダイヤルによるシンプルでわかりやすいインターフェース
- ・ タッチノイズ無縁のローノイズレコーディング
- ・ 録音後はスマートホン経由でその場から SNS へ
- ・ 操作を簡略化できる複数の自動化機能
- ・ オーバードビングとリバーブエフェクトで音楽制作への活用も

【DR-44WL の主な特長】

- ・ Wi-Fi 接続に対応した 24bit/96kHz ハイレゾ対応 4トラックリニア

ア PCM レコーダー

- ・ スマートホンと Wi-Fi 経由で接続し、スマートホンからリモートコントロール
- ・ 使用環境に合わせて選べる 2 種類の Wi-Fi 接続方式 (ルーター経由 /1 対 1)
- ・ 本体だけで高音質録音 - 本格的な X-Y 方式ステレオマイクを搭載
- ・ プロフェッショナルの要求に応える XLR/TRS 入力端子
- ・ タッチノイズ無縁のローノイズレコーディング
- ・ 録音後はスマートホン経由でその場から SNS へ
- ・ 操作を簡略化できる複数の自動化機能
- ・ MTR モードを活用して本格的な楽曲制作
- ・ 豊富な付属アクセサリーで様々な用途、環境に対応

◆ティアック：Windowsに特化した音楽制作・レコーディングソフトウェア SONAR シリーズのスターターグレード「SONAR HOME STUDIO (パッケージ版)」を新発売

ティアック(株)は米 Cakewalk 社 TASCAM Professional Software ブランドの音楽制作ソフトウェア「SONAR HOME STUDIO (パッケージ版)」を新発売した。「SONAR HOME STUDIO (パッケージ版)」は Windows 専用 DAW ソフトウェア SONAR シリーズの特徴を継承しつつこれからパソコンで楽曲制作を始めるユーザーに最適化し機能を厳選したグレード。リスナーへの配信方法が多様化した近年の音楽活動に対して DSD エクスポートを含む様々なファイル形式での書き出しに対応している。YouTube や SNS へのダイレクトアップロード



など自身のメディアと直結した音楽制作を行うことが可能。

◆ティアック：ドイツ beyerdynamic 社テスラテクノロジー搭載インイヤーヘッドホンのフラッグシップモデル「XELENTO REMOTE」を新発売

ティアック(株)はドイツ beyerdynamic 社テスラテクノロジー搭載インイヤーヘッドホンのフラッグシップモデル「XELENTO REMOTE」を 3 月下旬から発売した。

テスラテクノロジーは電気信号だけでは表現出来なかった高い解像度、広いダイナミックレンジ、歪みの低減を、1 テスラ (1 万ガウス) を超える強力な磁力によって実現する beyerdynamic 独自のドライバテクノロジー。長年の研究によって開発された小型化技術によってインイヤーヘッドホンの常識を覆す明瞭かつ迫力のあるサウンドを実現した。インピーダンスは 16Ω にチューニングされているので高級 DAP からスマートフォンまで気軽にテスラドライバーのサウンドを楽しむことができる。

ケーブルには高純度銀メッキ銅線を採用した芯線と外部ノイズを低減するアウタージャケットが採用され、コネクタは MMCX 端子を採用することで簡単にケーブルの着脱が可能になった。

【この件に関する問い合わせ先】

ティアック株式会社 タスカムカスタマーサポート

TEL:0570-000-809 (ナビダイヤル)

042-356-9137 (IP 電話・PHS)

FAX:042-356-9185

◆キャノン：国際情報通信技術見本市「CeBIT2017」に出展

キャノン(株)は3月20日から24日までドイツ・ハノーバーで開催された国際情報通信技術見本市「CeBIT (セビット) 2017」の「ジャパン・パビリオン」に出展した。「CeBIT 2017」は、IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなど先端技術を活用した BtoB ソリューション分野では世界最大級を誇る国際情報通信技術の見本市。今回キャノンが出展する「ジャパン・パビリオン」は、日本貿易振興機構が出展するもので、日本がパートナーカントリーとして初めて参加し、118 の日系企業・団体が参加した。パビリオンは「Create a New World with Japan -Society5.0, Another Perspective -」というコンセプトのもとに3つのゾーンで構成され、キャノンはこのうち、家庭での消費生活や、街角での消費体験、オフィスにおける働き方を質的に変えることのできる商品・サービスと、それを支える事業者向けのシステムやサービスを集めた Life / Office / Society ゾーンに出展した。

キャノンブースではセキュリティ分野において事業拡大を目指すネットワークカメラを中心としたさまざまな映像ソリューションがスタジアム・商業施設・都市監視の3つの使用シーン別に展示された。スタジアム監視は、アクシス社との初の共同開発製品「AXIS Q1659」を一例に、スタジアムをはじめ道路や街中などを高解像度で監視するソリューションが紹介された。商業施設ソリューションでは、大規模人数もカウント可能な映像解析ソフトウェア「People Counter」や低照度性能に優れたネットワークカメラ「VB-M50B」、マイルストーンシステムズ社の IP 監視カメラ管理ソフトウェアの「XProtect」が紹介され、都市監視ソリューションを想定した展示では夜間監視が重要となる空港、港湾、駅、ビルなどのエリアでも鮮明な監視を可能とする超高感度多目的カメラ「ME20F-SH」が展示された。

◆キャノン：CINEMA EOS SYSTEM 新商品

「EOS C700 GS PL」発売予定時期決定

キャノンマーケティングジャパン(株)は、発売日未定となっていた CINEMA EOS SYSTEM の新商品「EOS C700 GS PL」の発売予定時期を2017年7月下旬に決定した。



【問い合わせ先】

キャノンマーケティングジャパン株式会社

<http://cweb.canon.jp/corporate/>

◆キャノン：高画質・高倍率の HD ビデオカメラ

「iVIS HF R82」「iVIS HF R800」を発売

キャノン(株)は高画質・高倍率に加え、撮影中にスローモーションやファストモーションへの切り替えが可能な新機能「区間スロー & ファスト」を搭載した、HD ビデオカメラ「iVIS HF R82」「iVIS HF R800」の2機種を、2017年2月23日よりキャノンオンラインショップで発売した。両機種は2016年2月に発売された「iVIS HF R72」と「iVIS HF R700」の後継機種。



「iVIS HF R82」



「iVIS HF R800」

光学32倍ズームレンズを搭載し、撮像素子の有効エリアを効率的に活用して高い解像感を保持する最大57倍の「アドバンスズーム」により、広角から望遠まで高画質に撮影可能。さらに、細部まで美しいフルHDの高画質を実現する CMOS センサーと、演算処理能力の高い映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 4」を搭載し、暗いシーンでもノイズを抑えて撮影可能。

歩行時、望遠撮影時、マクロ撮影時、三脚使用時など、撮影状況に応じて自動でブレを制御し、最適な防振効果を得られる「マルチシーン IS」を搭載。このうち、歩きながら撮影する際の手ブレ補正機能「ダイナミックモード」は、5軸方向（回転軸・水平回転軸・縦回転軸・上下・左右）のブレを補正し、画像の揺れやゆがみを軽減。

中高輝度領域の階調性、色再現性、鮮鋭感を高めることで、雲の立体感、水の透明感など質感表現を向上させる記録モード「高輝度優先」を搭載。逆光で被写体や背景に黒つぶれが発生しがちな場面でも、カメラが自動で明るさを補正する機能を新たに追加。

撮影シーンに合わせて、最適な録音設定ができる「オーディオシーンセレクト」機能を搭載。臨場感あふれる「森と野鳥」や「音楽」、人の声が聞き取りやすい「スピーチ」など、5種類から選択可能。

子どもの生後日数や体重などをスタンプにして映像に貼り付け記録可能な「ベビーモード」(AVCHD 記録のみ)を搭載。

長時間記録に有効な大容量バッテリーを同梱し、約165分の連続撮影が可能。

撮影中に任意のタイミングで特定の部分を1/2倍速や2倍速にワンタッチの操作で切り替えることが可能な「区間スロー & ファスト」機能を搭載。運動会の徒競走やサッカーのゴールシーンなど、一部分をスローで撮影したり、料理の様子や子どもの動きなどを、動作によって部分的に2倍速に切り替えて撮影したりすることで、印象的な映像作品として記録することが可能。

撮影前に設定を行う常時の「スロー & ファストモーション」機能は、従来機種の設定値120倍速と1200倍速の間に、300倍速と600倍速を追加。300倍速は5時間分を1分、600倍速は10時間分を1分で再生。長時間の出来事を短い映像で記録する際に有効。

NFC や Wi-Fi に対応し、新たにレンズ交換式デジタルカメラやコンパクトデジタルカメラで用いられているアプリケーション「Camera Connect」に対応。ビデオカメラで撮影した映像(MP4 / JPEG のみ)

をスマートフォンなどの携帯端末に保存することが可能。

インターネットを経由し外出先から携帯端末でリアルタイムに撮影映像をモニタリングし、離れていてもペットや子どもの様子を確認することが可能。

携帯端末からビデオカメラのリモート操作に対応し、動物や野鳥など、近距離での撮影が難しい被写体も撮影可能。また、携帯端末による記録のスタート・ストップやズームなどのリモート制御のほか、バッテリー残量・記録可能時間・ズーム位置などのビデオカメラ情報を携帯端末に表示。

【問い合わせ先】

キヤノンお客様相談センター

TEL:050-555-90003

◆ピーアイ・フォース：Dynaudio PRO 期間限定プロモーション・キャンペーンを実施

㈱ピーアイ・フォースは Dynaudio PRO のプロフェッショナルモニターの最新ラインナップである「LYD 5」を期間限定価格で発売する「Switch to LYD 5」プロモーション・キャンペーンを実施する。「Switch to LYD 5」プロモーション・キャンペーンは他社製のスタジオモニター/スピーカーを使用しているユーザーに「Dynaudio PRO LYD 5」をキャンペーン価格で販売するプロモーション・キャンペーン。希望小売価格 80,000 円（税別）の製品を 49,900 円（税別）で販売する。5 インチ LF 搭載モデルの「LYD 5」は希望小売価格が 160,000 円（税別）が 99,800 円（税別）になる。キャンペーン期間は 3 月 10 日（金）から 5 月 15 日（月）まで。

【問い合わせ先】

株式会社ピーアイ・フォース

TEL:03-6441-0591 FAX:03-3568-8825

プロモーション・キャンペーンページ

http://biforce.jp/dyn/promo/LYD5_Promo/

◆ブラックマジックデザイン：新しいプロ仕様のデジタルフィルムカメラ「URSA Mini Pro 4.6K」を発売

Blackmagic Design は新しいプロ仕様のデジタルフィルムカメラ「URSA Mini Pro 4.6K」を発売した。同製品はどこへでも持ち運び可能なハンドヘルド



カメラで搭載された触覚コントロールによりカメラを肩から下ろさずに設定を変更可能、Ultra HD 4.6K の解像度、15 ストップのダイナミックレンジ、超広範の色域、DaVinci カラーサイエンスに対応している。2、4、6 ストップの ND（ニュートラル・デンシティ）フィルターが内蔵されており、IR（赤外線）フィルターは、光波長と IR 波長を均等にフィルターして、イメージの IR 汚染を除去するよう設計されている。EF、PL、B4 レンズに対応した交換できるレンズマウントが搭載されており、幅広い種類のプロ仕様レンズを使用することが可能。デュアル C-Fast2.0 レコーダーおよびデュアル UHS-II SD カードレコー

ダーに対応しているため、作業に合わせてメディアを選択でき、各メディアタイプがデュアルスロットに対応しているため 1 枚のカードがフルになると自動的に次のカードに移り、収録を続けながらフルになったカードを空のカードと交換することも可能。

◆ブラックマジックデザイン：持ち運び可能な DaVinci Resolve 用コントロールパネル 2 機種を発売

Blackmagic Design は編集ソフト

「DaVinci Resolve」用の持ち運びできるコントロールパネル「DaVinci Resolve Micro Panel」および「DaVinci Resolve Mini Panel」を発売した。



「DaVinci Resolve Micro Panel」

「DaVinci Resolve Micro Panel」は極めて小型のポータブルハードウェア・コントロールパネルで、3 つのトラックボールとプライマリーカラーコレクション用の 12 個のコントロールノブ、18 個のナビゲーション/トランスポート



「DaVinci Resolve Mini Panel」

専用キーなどを備えている。「DaVinci

Resolve Mini Panel」は、3 つのトラックボールとプライマリーカラーコレクション用の 12 個のコントロールノブ、18 個のナビゲーション/トランスポート専用キーの他、LCD スクリーン 2 つ、8 個のソフトツマミ、8 個のソフトボタンに加えてツールセットの切り替え、ノードでの作業、スチルの呼び出し、タイムラインでのナビゲーションのための専用キーなどが搭載されている。

【問い合わせ先】

ブラックマジックデザイン

<https://www.blackmagicdesign.com/jp>

◆ローデ・シュワルツ・ジャパン：エントリー・クラスのデジタル・オシロスコープ「R&S RTB2000」の販売開始

ローデ・シュワルツ・ジャパン(株)

は 3 月 15 日からエントリー・クラスのデジタル・オシロスコープ「R&S RTB2000」を発売した。「R&S RTB2000」はタッチスクリーンによる操作と 10 ビット垂直分解能を提供するエントリー・クラス初の低価格オシロスコープである。同社はドイツで開催された embedded world 2017 国際見本市において「R&S RTB2000」を教育、研究開発、および製造用途向けに発表した。



10.1 インチの静電容量式タッチスクリーンを搭載。このクラスのオシロスコープの約 2 倍、ピクセル数では 7 倍の解像度を備えているためテスト中の信号を詳細に表示できる。1024 の垂直分解能を持つ独自の 10 ビット ADC が搭載されており、他の一般的な 8 ビットのオシロスコープと比較して 4 倍の高分解能を持っている。各チャンネルあたり 10M サンプルのアクイジション・メモリとインターリーブ・モードによるチャンネルあたり 20M サンプルを備えており、オブショ

ンで 160Mサンプルのセグメント・メモリとして拡張することができる。「R&S RTB2000」には 2および 4チャンネル・モデルがあり、70MHz、100MHz、200MHz、300MHzの帯域幅がある。本体の機能を拡張するためのアップグレードオプションも用意されている。

◆ローデシュワルツジャパン: エントリー・クラスの スペクトラム・アナライザ[R&S FPC1000] 発売開始

ローデシュワルツジャパン(株)は 3月16日からエントリー・クラスのスペクトラム・アナライザ[R&S FPC1000] を発売開始する。同製品はドイツで設計されハイエンドのローデ・シュワルツ計測器と同じ品質基準で設計されており、卓越した RF性能と将来に渡って価値を維持するソフトウェア・アップグレードが提供される。クラス最高の測定分解能となる 1HzRBWを搭載、10.1インチディスプレイにより信号をより鮮明に詳細に測定することができ、スマート・ワイヤレス・モバイル・アプリまたは PCソフトウェアによるリモート・コントロール・オプションを備えている。



「R&S FPC1000」の基本モデルは 5kHzから 1GHzの周波数レンジをカバーしている。周波数レンジはソフトウェア・アップデートにより 2GHzまたは 3GHzに拡張できる。アップグレードは必要に応じて購入することができ、キーコードが入力されるとすぐに利用が可能だけでなく再校正も不要。

「R&S FPC1000」は -150dBm(代表値) の低ノイズ・フロアを提供し、オプションで用意されているプリアンプを使用することで -165dBm(代表値) まで拡張することができる。最大入力パワーは +30dBm(1W) までの RF信号を測定することができる。低ノイズフロアと高い最大入力パワー・レベルの組み合わせにより広い測定ダイナミックレンジを実現している。

◆ローデ・シュワルツ・ジャパン: ケーブル&アンテナ・ アナライザ[R&S Cable Rider ZPH] を販売開始

ローデ・シュワルツ・ジャパン(株)は 3月 17日からケーブル&アンテナ・アナライザ [R&S Cable Rider ZPH] を販売開始した。

同製品はデータポイントあたり 0.3ミリ秒の測定スピード、起動時間 15秒、ウォームアップに必要な時間は 1分、さらに温度と周波数の変化によるキャリブレーションの必要が無いなど、作業時間を大幅に節約できる。また作業者が簡単に実行できる手順で測定をガイドするウィザード機能が採用されており、すべての設定と測定ステップを事前に設定することができるため、作業者は表示されている試験手順を実行するだけでよい。2.5キログラムの軽量と9時間のバッテリー寿命を持つため作業者は1日の仕事を中断することなく実施できる。大型カラータッチスクリーンは作業者が作業用手袋をしていても簡単に扱うことができる。2MHzから3GHzの周波数レンジをカバーし、キーコード・オプションにより周波数レンジを 4GHzに拡張することができる。



◆ローデ・シュワルツ・ジャパン: プロトコル・テスト [R&SCMW500] が NB-IoTと eMTCプロトコル・コン フォーマンス・テストケースを単体の計測器で提供する業 界初のテスト・プラットフォームに

ローデ・シュワルツ・
ジャパン(株)はプロトコル・
テスト[R&S CMW500]
が NB-IoTと eMTCプロト
コル・コンフォーマンス・
テストを提供する、業界



初のテスト・プラットフォームになったことを発表した。これにより製造業者とテストハウスはチップセット、モジュール、およびデバイスが規格に準拠していることを単体の計測器を使用して確認できるようになった。

3月初めに、ローデ・シュワルツは、GCF作業項目 257で指定された 4つの NB-IoTテストケース、GCF作業項目 81,82,150,177、および 179で、合計 129の eMTCレガシー・テストケースを検証し、結果、C-IoTのための検証されたプロトコル準拠のテストケースの数が最も多い計測器メーカーとなった。ローデ・シュワルツは、プロトコル・テスト[R&S CMW500] のテスト・ケース・ポートフォリオを拡張し、プロトコル・コンフォーマンス・テストにおいて、市場における地位を拡大した。

【問い合わせ先】

ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社
Tel: 03-5925-1270 Fax: 03-5925-1290

◆アップル: Apple、iOSで楽しみながら表現力豊かなビデオ を作る新しい方法、「Clips」を発表

3月 21日、iPhone と iPad で、だれでも手軽に楽しく表現力豊かなビデオが作れる新しいアプリケーション、「Clips」をアップルは発表した。ユーザは「Clips」の備えているユニークな機能を利用し、ビデオクリップ、写真、音楽を組み合わせた魅力的なビデオを作って、メッセージアプリケーション Instagram、Facebook などの人気のソーシャルネットワークを通じ友だちに見せることができる。

さらに「Clips」には、使用中のユーザが自分の声で話しかけるだけで字幕やタイトルのアニメーションが作れる、Live Titles という画期的な機能が備わっている。漫画コミック風のフィルタ、吹き出し、図形、フルスクリーンアニメーションポスターなどの楽しいエフェクトをつけて、個性的なビデオを作ることができる。

「Clips」は 4月上旬より App Store を通じて無料で提供開始される。対応デバイスは iPhone 5s 以降、新しい 9.7 インチ iPad、iPad Air および iPad Pro の全モデル、iPad mini 2 以降、iPod touch (第 6 世代) で、iOS 10.3 以降で利用することができる。

【問い合わせ先】

Apple
<http://www.apple.com/jp/>